

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きよう。
奈良は未来をひらくまち。青少年は健康ではつらつと、正しく強い人間になりよう。
奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあひよう。
奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しよう。
奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしよう。

奈良市民だより

No. 424

市民のうごき

9月1日現在(前月比増)
人口 288,109人(728)
男 139,940 (371)
女 148,169 (357)
世帯数 91,393 (167)

ハリ・キュウの成果と今後を語る

熱心に語り合う人々(鎌田市長(正面)から座席右回りで松本信子(左)、西田正江さん、上野広氏、武藤達吉医師)



特集

小児マヒ・筋ジストロフィーなどの難病に苦しむ人たちとその家族を救うため、奈良市が中国のハリ・キュウを導入して、昨年十月「みどりの家診療所」を開所し、診療を始めて来月で早くも一周年を迎えます。医師団の献身的な診療によりその効果が目に見えて現われ、患者はもとより家族からも喜ばれるようになってきました。

九月は奈良市の「福祉月間」にもあたり、ちょうど診療開始一周年を迎える時期でもあるので、ハリ・キュウ医療を導入した鎌田市長、治療に当たっている医師を代表して武藤達吉医師(55歳)、市肢体不自由児父母の会長松本信子さん(40歳)、ハリ・キュウ診療を受けている難病者の家族を代表して西田正江さん(52歳)と上野広氏(64歳)の五人に出席していただき、それぞれの立場から、中国のハリ・キュウについて語ってもらいました。以下はその抄録です。

(司会北尾義夫市長公室次長)

医師の協力で著しい成果

難病克服へ大きな希望わく

司会 皆さん、本日はくろうさんでございませう。奈良市が小児マヒや筋ジストロフィーなどの難病で苦しむ人を、なんとか治したいという強い願いのもとに中国のハリ・キュウ医療技術を導入して、昨年十月に「みどりの家診療所」を開所してから間もなく一年を迎えようとしています。

そこで、きょうは関係者にお集まりいただき、開設以来の経過をふり返っていろいろお話し合いいただきたいと思っています。

鎌田市長 まず、武藤先生をはじめ治療に当たっていただいている先生がたにお礼を申し上げます。おかげさまで、不治の病をなおすハリの効果がいま出てまいりまして非常によろこんでいるところなんです。それは、先生がたの献身的な医療努力、協力のたまものです。市民を代表してお礼を申し上げる次第です。

武藤達吉医師 いえ、こちらこそありがとうございます。小児マヒ、筋ジストロフィーなどの難病に苦しむ人たちの家族を救うため、奈良市が中国のハリ・キュウを導入して、昨年十月「みどりの家診療所」を開所し、診療を始めて来月で早くも一周年を迎えます。医師団の献身的な診療によりその効果が目に見えて現われ、患者はもとより家族からも喜ばれるようになってきました。

市長 私は年二回、難病者の家へ見舞いにまいります。見舞いにまいりますとね、難病者の家はそれは暗いですが、私はなんとお見舞い申し上げてよいかかわからない。言葉では見舞いはいいえ、しかし言うてみたところで、見舞いを受けた家族としては、おさなりのお見舞いに来てくれて心通わないことだと、口には出さなくても、そういうような顔をしておられるように、私には思えます。それや難病者を持たないものには、その苦しみはわかりませんよ。

奈良市は福祉都市宣言をして、福祉天国といわれるまちをつくりたいと念願してやっています。それや、難病者だけはどうにも救うことが出来ません。そこへ起こったのが大空寺の悲惨な事件でした。それは三十四歳になる小児マヒの女の子をかかえた父親が、自分が年をとってきてその子の面倒が見られないので、その子を井戸へほうり込んだ。そして自分も近所の池へ飛び込んで自殺してしまっただけで、その葬式に私も参列したんです。

その時は、こういう悲劇を二度とくり返さないために、小児マヒをなんとかして治したい、治さないと福祉ではないと思っただけです。奈良市は中国と親しくしておりましたので、中国へまいりました時、中国のハリ・キュウの効果を知りました。それと、

以下第2・3面へ

中国の病氣に対する考え方がちがうんです。病氣は必ず治るんだ。治しえないのは医者が悪いんだとね。私はそれに飛びつきました。それで、私は、桜井先生に相談し、武藤先生と丘田先生と、桜井先生のご息子を推薦してくれまして、三人の先生方に中国へ研修を受けに行ってもらったことになったんです。先生方としても三ヶ月以上休診するといふ大変な犠牲をはらっていただいていた。とくに武藤先生の場合なんか、そのために退職金ももらわずに行っていたんだ。

そんなんで、中国へ三人行っていただき、きびしい研修を受け、帰国されてから治療に当たってもらっているわけです。先生がたが、中国の病氣に対する考え方をハッキリと自分の考え方としてやっていたので、ぼくはほんとに我が意を得たり、同志を得たという感じがしているんです。いまでは、難病者を見舞いにいきましても、「ハリ・キュウで必ず小児マヒは治りますよ、先生がたが治してく

ださいます。だから辛抱して治療を受けてみてください。早く元気になってください」といえますよ。ほんとのお見舞いがいえるようになったわけなんです。

このごろ、ぼくも初めて心身障害者のほんとの福祉行政をやらしていただいているな、と思っていると、

こんど、第四次訪中団で中国へ行った時、ハリ・キュウで全盲者、ろうあ者を治すことについてよく話し合っていました。中国では、神経性のものは治るとはつきりいっていません。確信をもってね。それで、ご苦労をおかけしますが、武藤先生にもう一度中国へ勉強に行ってください。全盲とろうあの人を治すための勉強にね。

奈良市でやらしてもらおうハリ・キュウ治療については、武藤先生らが確信をもって進めていただくと、皆さん方は忍耐強く治療についていていただく、そしたら必ず治る。そういうことでやっていきたいと思っています。

本号6ページ

2・3面「ハリ・キュウ治療の成果と今後」の座談会
4面 市政ニュースなど
5・6面 お知らせ記事

武藤医師

根気よく治療、必ず治る

十数年ぶり初めてモノ言った子も

司会 先生がたの努力によりまして、いろんな効果が出てきています。聞いておられますが、治療に当たられてはいる武藤先生から……

武藤医師 私はいま申されたような市長さんの崇高なヒューマニズムに感動して中国へ行っていただけたわけですね。そのおかげで「みどりの家」で治療をさせていただいておられます。そして、今まで全然関係のなかった市長のお子さんの実態も知らなかったし、この治療に当たってか

病気は体の内
外からなおす

そういうことを別にして、今までの十カ月余りの間のまとめを若干しましたが、結論



武藤 達吉 医師

から先に申しますと、市長さんが先ほどいわれたように、必ず治ります。治るといふことは、私も中国の医学を学んでわかっていったんですが、治療して確信を持てるようになった。肢體（しだい）のマヒした子どもたちは外だけじゃなしに、身体の内側にいろんな欠陥を持っていて、便秘するとか、食欲がないとか、夜寝ないとか、もちろん脳性マヒですから、テンカンの発作も始終します。初めは外の症状にとらわれて、内の症状というのを考えてなかったんですけども、その外を治すには先ず

消化器系統をよくしてやるのが第一だ、ということが治療してみてもわかってきました。二千年も三千年の体験を集めた中国医学の本には、マヒの状態を癱瘓（いしん）（う）といひ、外では筋肉が具合悪くなつて奇形が生じるんですが、その外を治すには、先ず調理脾胃（ひい）といひて消化器系統をよくしてやるのが第一だと書いてあるんですが、その通りだということがわかったわけですね。それで、便秘とか食欲不振とか、不気げんとか、ケイレンとかはハリで治っていくんです。軽症であれば、山口さんとこのように一カ月ぐらいいでぐんぐん良くなる子どもさんもいますが、一般的にいえば、十カ月たつてメドがついたところなんです。しかし、医者も患者さんの方も、どちらも根気よく治療を続けていったら、速度に差はあるけれど、必ず良くなるということとは間違いなく確信したわけです。それともう一つは、筋ジストロフィーにもいえることですが、これも根気よくやれば、必ず筋力が回復するということです。やせてしまったものが元どおりに太るとか、そういうことがなくても、いままで治療した経過

では、奇形が治らなくても、筋力が非常に回復していきます。ですから、ハリ・キューウの効果は非常に素晴らしいと思います。そのほかに、脳性マヒですから、斜視だとか、視力障害というものがありますが、斜視なんか割合簡単に治ります。視力障害も徐々にすくなく良くなっていきます。ただし、途中で治療が中断することがあるんですね。お母さんの病気がとか、家庭の事情だとかでね。そうすると一カ月ぐらいいると、また元へ戻ります。だから、これはほんとに長期に継続していかないと効果が安定しないと思います。それと、市でもやってもらえる機能訓練とか、言語訓練とかいうものを併用していけばどんどん回復します。とくに言語は言語訓練がいります。

言葉が出た！
治療に感動の一瞬

言葉の方では、十数年全くなかった言葉を出したんです。が、これは効かんかなと思つて、八カ月ぐらいいから家ですこしずつ何かしやべり出しました。私が一番感動したのは、八

月二十日でしたが、その子が診療所へ来て言葉を発してくれたんです。「おかあちゃん」といったんしょうけどね、「たあちゃん」と聞こえました。それなら隣りにいた脳性マヒの女の子が、呼応してものを言ったんです。市長 おお！ものを初めて言うたんですか。武藤医師 家ではもうちょっと早くから言っていたようなんですけど、診療所では初めてです。この耳で聞いて、こんなに感動したことはないです。どうしても、診療所へ来ますと緊張してしまうんです。足なんか内反足といって内側向いていきますよね。これが家ではかなり改善されているんですけど、緊張するとダメなんです。市長 この病気の子どもはどうしても過度に緊張するんですね。武藤医師 そうなんです。だけど、その度合いはだんだんゆるくなってきます。上野さんとこのお嬢さんでも、今までは手を合やすことが絶対できなかったんです。脳性マヒの頸椎（けいつい）（けい）がいかれた場合は、フュンシングスタイルで、首が向いた方に手がいつて、口がまがって顔がゆがんで自由がきかないんです。だから手を合やすことは、ほとんどできない。それが、今は少しかケイレンが残っていますが、時間はかかりますが、手を合やすこと

ができるようになります。それと、今まで自由に運動していたのがボリオにかかって、脊椎（せきつい）（せき）の前角だけがやられて、肢體が不自由というのは治りがいいはずなんです。だが、生まれる前後で脳がやられ、正常な運動ができない、正常な運動の仕方を経験しない子どもの場合は、脳の影響をたえず受けていますので、コンロールができません。いったん矯正してもまた元にもどるのです。私たちが、正式に治療をはじめた十カ月と、経験が浅いわけなんですけど、これからだんだん経験を積んで、もっと早くたくさんの人を治療したいと思っています。市長 経験は浅いけど、日本では一番です。これぐらいたくさんさんの難病者を扱われたお医者さんはおられませんよ。奈良の四人のお医者さんのほかにね。

表情が復活
もらい泣き

武藤医師 それと、もう一つ思い出したのが、先ほど申しましたように、言語が回復すると同時に、表情がね、だんだん出てきて、喜怒哀楽が出てくるんです。それにももらい泣きをするんです。隣りに居る子が泣いたら、自分もポロポロ涙を流して、もらい泣きするんです。それだけ変わってきます。これを学問的に言うと、無足獣の状態、四足獣の状態、それから二足獣とだんだん分類があるわけですね。今まで無足獣の寝たきりで感情のなかった状態の子が、だんだん人間らしくなつて、もらい泣きするようになってくる。こういう点で、ハリ・キューウには、他では考えられない効果があるんです。ただ、惜しいことに、私たちは治療に追われて、科学的なデータをとることをおこな



ハリ・キューウ治療に専念する桜井立良医師

いまして、親としては、ほんとに感激この上ない次第でございます。先生は「今年中に歩けるようにしてやろう」とおっしゃっていただいておりますが、決して、そんな高望みはいたしていませんけども、この上、少しでも良くなっていただけるんじゃないかと期待を持ちながら、できるだけ休まず熱心に治療に通わしていただきたいと思つておるわけなんです。市長 結構でした。希望が持てるのと、持てないのとでは大きく違いますからね。上野さん はい。それと、からだがごつくなりましたから、外出はほとんどしませんが、診療所へ通うようになりまして、私と家内で送ってくるんですが、これが本人の楽しみになりましたね。

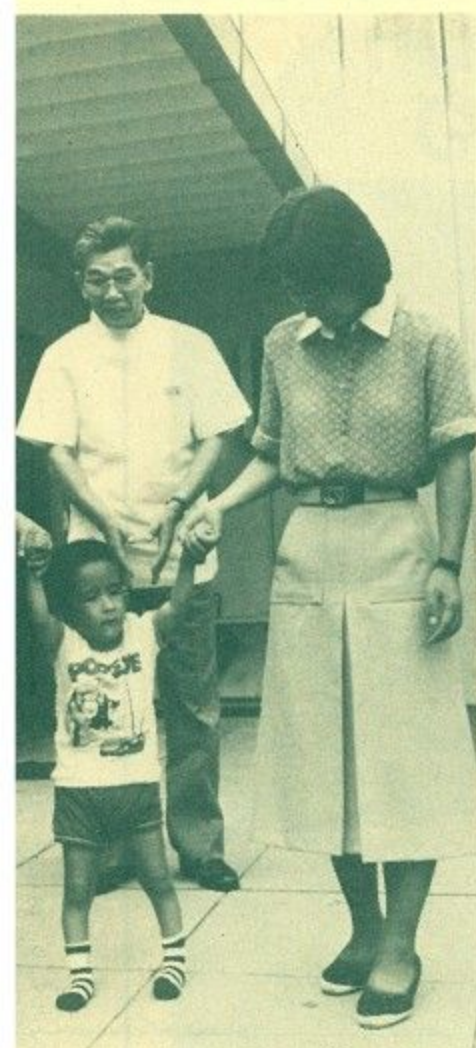
介護者にも
施療が必要

武藤医師 通院するのが大変なんです。家の方で、看病する方は必ずしもいいほど腰や肩を痛めるんです。ですから、患者と同じように介護者を治療するようにしています。そうでないと、連れてきてくれませんからね。来てくれなくては治療できませんので……

治療臨床例

(42例のうち主なもの)

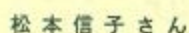
名	当初症状	臨床経過
体幹	はうこともできない。	首のすわりがよくなり自力ですわれるようになる。
	右足内反。歩行困難。	足腰に筋力がつき、長時間立つことができる。
体幹	左手動かしにくい。足も動かしにくい。言語不明瞭。	座位3時間可能。開脚できるようになる。
	両下肢の機能障害。背柱の側弯著しい。	生まれて初めて車椅子で食事ができた。40分位すわれるようになる。
体幹	背柱わん曲著しい。すわれない。	生まれて初めてすわって頭を洗う。食欲増進、体重増加。
機能	歩行不能。	足のユビに力がつく。膝頭が肢部につくようになる。
	よだれの量多い。便秘、安眠しない。	言語がはっきりしてきた。理解力増加、よだれがなくなり落ち着く。
	歩けるがふらふらしている。	足のユビに力がつく。
体幹	気管支炎を持つ。上・下肢のマヒ著しい。	肺機能改善し、食欲も増す。
症候	言語不能、すわることもできない。	物につかまっ一人で歩ける。呼びかけると返事する。



こうようになった山口昭くんを支えてよろこぶ家族
(みどりの家診療所で)

うようになった山口昭くんを支えてよろこぶ家族
(みどりの家診療所で)

父母の会



本さんから、母親の立場としてなにか……。

松本信子さん 先ほどから

不幸な子みんなが治療の恩恵に浴するよう

家庭でも辛抱強く治療続ける

ただ、お母さん方は子どもが重症なもので、それに負けてしまつて、どんないい話を聞かせていただいても、自分の子をがんばらしてやろうという気になかなかないに聞いています。せつかくこうして

母さんがたが、市長さんらのおかげで少しでも明るい生活ができるということは、同じ障害児を持つ親としてありがたいことだと思っています。

それと先ほど武藤先生が、生まれる前後の障害の方はなか

走りまですの、ちよつとも多くの人が治療を受けられるようにお願いできたらと思うんですけど……。

武藤医師　近いうちに、もう少し人数をふやす計画をしています。一人に相当時間がかかりますので、どんどんというわけにはいきませんが、

留守中の火事が心配です

出かけるときは
火の元を確かめ
隣りへ声かけて

漸く本当の福祉へ

治療陣の充実図り
通院の便利も考慮

市長 松本さんが、子どもの通院のために親がからだを

漸く本当の福祉へ

治療陣の充実図り
通院の便利も考慮

鍛えたとおっしゃったが、ほんと大変ですね。上野さんもさっき言われていましたが、ハリ・キウウの診療を受けるために通うのが大変なことなんです。そういうことに対する施策も考えましよう。

しかし、それよりも今は、もう少し診てくれる人を増やさなくちゃなりません。まだ順番を待っておられる人がたくさんある。それを解決しなければと思っています。

それから十一月六日に中国のハリ・キウウ代表团が初めて日本へやってきます。私の招きでね。六人が二十八日まで滞在されます。

奈良の地で、武藤先生ら奈良の先生がたと臨床の交流ができる機会が持てたんです。

大變愉快なことです。日本ではハリ・キヌウの代表団を迎えるのは初めてです。それに奈良の中国で研修を受けた奈良の先生方に協力して、奈良市民を直接診察してくださいし、盲人の鍼灸師（しんきぎゅうし）に中国のハリ・キヌウを講習してくれるのですから、効果があがると思います。

また、先ほど申しましたように、目の見えない人、耳の聞こえない人を治すハリ・キヌウを修めるために、武蔵生に中国へ行っていただきます。こういうことで、奈良市の診療陣営を充実します。

今は難病者に希望の灯台ができたところです。これからこれを充実していきたい。

みなさんもひとつ忍耐し

て、病気を治すように協力してくださいます。

実際に病氣している人たちは、いままで生きる希望がなかったのが、よみがえったのです。この人たちに希望を持ってももらえるようになったというんですから、奈良市の心身障害者の福祉行政も、これでようやくほんとうの道に初めて入ったなあというように感じますし、なお一層努力して、われわれもいかなる苦難にも耐えて、この道を広げ実行していかなばならんと思っています。われわれは福祉の元祖である行基菩薩の精神に学んで、ほんとの意味の福祉の花を、民族の心ふる里・奈良市に咲かせたいと思います。

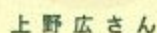
す。

私どもの方は、最初から運よく人選に当りまして、一年近くお世話になっております。

上野 広 さん

上野さん なんとお礼を申し上げてよいやら。お礼の申し上げようがないくらいで

司会 いま上野さんの話が出ましたが、和子さんのお父さんから何か……。



す。私の子どもは生まれつきの脳性マヒでございまして、とてもこれ以上は良くなるとは思っていませんでした。自分で食事も出来ませんし、身の回りのことは全部母親がせねばいけない状態でありまして、腹の中では情ないなと思いいながらも、なんとかなるだろうとあきらめておったんです。

それが最初に治療していただくことになって幸せだと思っ
ています。

武藤先生にすぎるような気持ちで、ずうっとお世話になったわけですが、全く先生の

献身的、ご熱心な治療によりまして、非常に効果が現れました。私、よく奇跡と申しますが、本人も親もびっくりするくらい良くなってきております。

具体的に申しますと、脳性マヒですので、手足の自由がききませんし、症状も先生がおっしゃったように、しょっちゅう体や手足が逆の方へ動くという状態であったり、からだがねじれて苦しんだりしました。そういうひどい症状が徐々に回復しまして、このごろは症状が非常にやわらいできました。



ハリ・キューウ治療に専念する丘田敦宏医師

奇跡
といいたい回復

身体各部が次々に自由を取戻す

それから手足が左右にふり
動くのが、だんだん正常化し

てまいりまして、最近では両方の手がそろった姿勢がとれ

やあ、歩けたぞ！

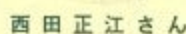
ハリ・キウ治療で歩けるよう
と、これを見守る武藤医師（みど）
ちば治療に追われて、科学的
なデータをとることをおこな
りまして、データ面で説明で
きないのを残念に思っていま
す。現在は簡単な方法です
が、データをとりはじめてお
るんですが、データの方が非
常におくれました。だから治
ったということ以外に現在報
告できないんです。

自分で立ち歩きも

呼べば「ハイ」とお返事

司会　一口昭くんのおばあさんである西田さんからひとつ……。

西田正江さん　いつもお世話になりましてありがとうございます。このごろではおかげさまで自分で立つようになりました。普通の子でしたらつたい歩きをしますが、それがなかなかできなかったんです。



「はい、初めのころは立てなくて、座つてもすぐに寝たがり、この子は骨がやわらかいのかと心配してました。市長 ぼくが、最初におじやました時より、だいぶ良くなりました。」

「五徳みそ」講習会

受講の好季節となりました。

希望者は早目に申し込んで下さい。

市生活安定課 ③④ 1 1 1 1

患者	年齢	障 害 名
A	3	脳性マヒによる四肢体幹機能障害
B	2	〃
C	27	脳性マヒによる四肢体幹動揺痙性マヒ
D	21	脳性マヒ
E	18	脳性マヒによる四肢体幹機能障害
F	4	脳性マヒによる体幹機能障害
G	14	脳性マヒ
H	16	痙性対マヒ
I	5	脳性マヒによる四肢体幹機能障害
J	4	水頭症による体幹機能障害

谷牧中国副首相

初秋の古都にくつろぐ

鍵田市長と並んで熱烈歓迎にこたえる
谷牧副首相（中央白服＝唐招提寺で）



このあと、谷牧副首相らは鎌田市長の案内で、符浩駐日中国大使らとともに大修理がほぼ終わった東大寺大仏殿を参観、午後は日中友好の先覚者鑑真和尚ゆかりの唐招提寺を訪れました。森本孝順同寺長老の案内で御影堂の鑑真和尚と対面、千二百余年前の日中友好交流をしのぶかのように感慨深げでした。訪日行事のギッシリつまったなかを、短時間ながら初秋の古都でくつろいだひとときをすごし、次の訪問地大阪に向かいました。奈良を去るにあたって谷牧副首相は「奈良で初めて日本の心にふれた歓迎を受け大変うれしく思い、感謝します」と語っていました。

慶州市からは
金市長ら
千年の友情確める

姉妹都市韓国・慶州市の市

紺家氏
収入役を退任

奈良市収入役紺家稔氏は任期満了となり八月十日付けで退任しました。

緒家氏は昭和三十三年十二月奈良市役所に入り、水道局総務、保険、教育委員会総務各課長、水道局次長、社会福祉事務所長、水道事業管理者を歴任し五十年八月収入役に就任。市政の発展に力を尽くしました。五十八歳、現住所は市内登美ヶ丘四丁目。

北和四市のマ
マさんバレ―

36 チームが楽しむ

奈良・天理・大和郡山・生駒の四市で組織する北和都市連合協議会（会長鍵田奈良市長）の第二回北和都市連合婦人バレーボール親善大会が九月四日午前九時半から市内法蓮町鴻ノ池の市中央体育館と同第二体育館で開かれまし
た。参加したのは四市のママさんバレーボール三十六チー



友好ムードで熱戦を展開する
北和都市の婦人たち

ムの選手五百二十五人。これ
を応援する子どもらを合わせ
ると約七百人。
開会式で、色とりどりのユ

ると約七百人。
開会式で、色とりどりのユ

翌七日は金市長らが市役所に鎌田市長を表敬訪問。「慶州の間」でくつろいだあと平城宮跡や平城ニュータウンを参観。平城ニュータウンでは金市長が「家賃はいくら」「戸当りの面積は」「住宅の不足率は」など熱心に質問、また3DKの住宅内を見学。同日大阪へ向かいました。

アルバート・オリバー氏が同委員会副委員長のオースチン夫妻とともに八月二十九日米軍。一条高校英語国際活動クラブ員や同国から来ている留學生の歓迎を受けて、市役所に鎌田市長を表敬訪問しました。

第二次大戦中、同氏はカウラ市で死亡した日本兵をキリ

元カウラ市長
オリバー氏

鎌田市長を訪問

オーストラリア・カウラ市の元市長で、同市日本庭園・文化センター委員会委員長の



堀田キヨさんを見舞う鎌田市長

市長が寝たきり老人を慰問

奈良市の「福祉月間」がはじまった九月三日、市内の寝たきり老人三人を鍵田市長が慰問し、五徳みそ

ど、心のこもる品を贈つて頂きました。

鍵田市長はまず堀田キヨさん(東九条町、83歳)を慰問。昭和五十三年十月以来寝たきりとなつているキヨさんに「いつまでも長生きしてください」と声をかけ、家族には「ご利用があればいつでも福祉事務所へ申し出てください」と、ねんごろに慰めました。

「消防の非難」

関東大震災から五十六年目を迎えた全国「防災の日」の九月一日、市では午前

（い）で東九条町の荒井ゆきさん（80歳）と古市南町の菊田嘉造さん（82歳）をそれぞれ慰問し、慰問品を贈り励ました。

市福祉事務所では七日までに市内の六十五歳以上の寝たきり老人二百二十九人と、特別養護老人ホーム長曽根寮の五十人を慰問しました。

支所に地元自治会、婦人会、小学校育友会などから六十人と地元出身市議会議員、市からは鎌田市長はじめ助役、関係部局長らが出席。

平田義一平城地区自治連合会長の司会で進められ、あいさつで鎌田市長は「市長はじめ市の幹部が地元に出かけ、現地の要望や声をお聞きすると、住民の立場に立つての行政がすすまられる。一緒に考え、解決をはかっていきたい。皆さんの協力で十三年間も続けさせてもらっていることは全国的にもまれなことです。建設的な意見を出していただき、住みよいまちづくりをや

「備えに有事」
 消防の非常召集訓練
 関東大震災から五十六年目を迎えた全国「防災の日」の九月一日、市では午前六時から消防職員の非常召集訓練を市立

鼓阪小学校で行ないました。
参加したのは消防職員百二
十六人と市消防団幹第三十一
が、九月四
日平城地区
を皮切りに

支所に地元自治会、婦人会、小学校育友会などから六十人と地元出身市議会議員、市からは鎌田市長はじめ助役、関係部局長らが出席。

平田義一平城地区自治連合会長の司会で進められ、あいさつで鎌田市長は「市長はじめ市の幹部が地元に出かけ、現地の要望や声をお聞きすると、住民の立場に立つての行政がすすめられる。一緒に考え、解決をはかっていきたい。皆さんの協力で十三年間も続けさせてもらっていることは全国的にもまれなことです。建設的な意見を出していただき、住みよいまちづくりをやっていききたい」と述べました。このあと地元からの問題十一件について盛んな意見や質問があり、市理事者が懇切に答えていました。

市政懇談会始まる
地元で住民の声聞く

意見をしかに聞き、それを施策に生かすため、昭和四十二年に始められたもので、ことしで十三回目。

参加は認めません。運動くつは必ず持参。場内が混雑したときは時間制限します。

今月下旬に実施

千二百人から意見聞く

市では、そのために各種の公聴活動を行ない、市民の願いを市政に反映してきました。世論調査もその一

を九月下旬に行なうことになりました。こんどの調査は「ハリ・キュー医療」を九月二十日ごろまでに調査票を郵送、回答事項を記入してもらい、同封の封筒

で、回答の方は締め切りの
十月五日までに必ずご返
送くださるようお願いしま
す。

|| 広報公聴課

「日本一住みよいまちづくり」――それは住みよい奈良を願う市民の声なので市政についての世論調査」

で名前を書かずに、市役所
広報公聴課「世論調査係」
まで返送していただきま
す。回答者の名前や答えの

